



日本共産党  
寄谷 猛男

### 子どもの香り被害について

**【質問】** 服や持ち物に使われる柔軟剤や芳香剤の香りが原因で学校生活に支障が出たり、健康を害する子どもがいる。化学物質過敏症について学校での取り組みを伺う。

**【答弁】** 各小・中学校では毎年、家庭環境調査を行い、保護者から児童・生徒の健康状況を聞き取りしています。学校生活においてアレルギーなど、健康上の心配事の申し出がある場合には、養護教諭や学校医などと連携し、個々の児童・生徒の実情に応じて対応します。化学物質過敏症はその原因となる物質や量、症状などが多種多様であることから、個々の実情に応じて対応策を検討します。

**【質問】** 香りの問題は好みの問題と受け止められたり、気にしすぎ、大げさと見られることもあり、相談することをためらう子どもや保護者もいる。相談しやすい環境をつくるためにも、化学物質過敏症

について、各家庭への周知・啓発活動などの取り組みを行うべきと考えるが見解を伺う。

**【答弁】** 子どもが相談しにくいときは、保護者が学校に相談していただき、症状の原因が分かっているものは対策をとることができます。生活環境の中では、化学物質は多種多様に限りなく存在するので、一般論的な啓発は難しいものと考えています。

### 教職員の長時間勤務の改善への影響について

**【質問】** コロナ禍による学習の遅れを取り戻すために夏休み・冬休みを短縮する予定だが、教職員の長時間勤務の改善への影響を伺う。

**【答弁】** 従来あった研修や会議は、軒並み開催されていないことから夏季および冬季に授業日が設定されても教職員の負担は、トータルとしてそれほど大きく増えないものと考えています。しかし、学校現場に影響を及ぼすさらなる不測の事態にも耐え得るよう、文部科学省が提案する人的・物的支援の活用検討も含め、引き続き教職員の長時間労働の改善に尽力します。



公明党  
三上 裕久

### 今年度予算の組み替えについて

**【質問】** 新型コロナウイルス感染症対策に関わる事業の実施と職員の有効的人員配置を目的に、今年度予定している不急の事業を中止や延期して予算の組み替えを行うべきと考えるが、市長の見解を伺う。

**【答弁】** 秋ごろには執行停止した事業費について集約し、その時点でこれらの執行残を活用して、新型コロナウイルス感染症に対応した事業の実施が必要と判断される場合には補正予算として提案し、予算の組み替えを行いたいと考えています。有効的人員配置についても、難局を乗り切るために市職員総力を挙げて対応してまいります。

### 住居確保給付金について

**【質問】** 休業などに伴う収入減少により離職や廃業と同程度の状況に至り、住居を失う恐れが生じている方々に一定期間家賃相当額を支給できるようにしたが、収入要

件、資産要件、支給家賃上限額および市民への周知について伺う。

**【答弁】** 申請月の世帯の収入合計額が、国が定める収入基準額以下であることが要件となっており、単身世帯で10万3千円、2人世帯で14万5千円が上限となります。支給家賃の上限額は、生活保護の住宅扶助額を上限とし、単身世帯で2万5千円、2人世帯で3万円となります。これらについては、公式ホームページや広報紙などを通じて周知してまいります。

### 経済活性化について

**【質問】** 閉塞感漂う市内の経済活性化に向けての市長の見解を伺う。

**【答弁】** 国による「持続化給付金事業」「家賃支援給付金」、市においては「飲食店応援プレミアムチケット」の販売、「滝川市タクシー・飲食店連携宅配サポート事業」、さらに「滝川市事業者応援給付金給付事業」の準備を進めているところです。また、国の無担保・無利子融資の実行に必要な「セーフティネット保証認定」について市が迅速に対応し、中小企業などの資金繰り支援を進めています。